Beatrice Allegranti ベアトリス・アレグランティ

ベアトリス・アレグランティはダンスムーブメント心理療法に精通した、振付家、心理療法士、フェミニスト作家、研究者そして教育者である。ベアトリスの芸術的焦点は、ポストモダンダンスのパイオニア達との舞台経験から生まれた“ボディ・ポリティクス”にある。“ボディ・ポリティクス”とは、ジェンダー、人種、階級、世代、セクシュアリティ、障がい、そして精神衛生を自叙伝的、そして社会政治的な構築物としてみる交差点のことである。ローハンプトン大学の教授をつとめる傍ら、RADA、London school of speech and drama、ラバンセンター、そして海外の大学で演者、俳優、ダンサーそして心理療法士たちにワークショップを行っている。
http://www.beatriceallegranti.com/

ワークショップについて 平成30年6月に障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が施行され、舞台芸術においても今まで以上に社会包摂的な視点が求められるようになりました。国内においても高齢者や障がい者による演劇活動が増える中、ベアトリス・アレグランティ（Beatrice Allegranti）のカンパニーによる、認知症の人々との舞台芸術協働創作プロジェクトを通してそのプロセスや実践についてご紹介します。

レクチャー／ワークショップ

7/24(水)
18:00〜21:00 レクチャー①
ダンスセラピーについて

7/25(木)
18:00〜21:00 ワークショップ①
ダンスセラピーを活用した ワークショップの実践

7/26(金)
18:00〜21:00 レクチャー②
社会包摂的舞台芸術創作について

7/27(土)
13:00 〜 16:00 ワークショップ②
身体がつむぎだす物語に出会う Part 1

17:00 〜 20:00 ワークショップ③
身体がつむぎだす物語に出会う Part 2

7/28(日)
13:00〜16:00 ワークショップ④（創作発表、振り返り）
身体がつむぎだす物語に出会う Part 3

17:00〜19:30 基調講演＆シンポジウム★
イギリスと日本の事例を通し、社会包摂における芸術の可能性を考える

◉ 募集人数：レクチャー50名 ワークショップ25名（ワークショップ②③④は、連続して参加できる方を優先）
◉ 講師言語：英語。日本語通訳あり
◉ 参加費：レクチャー500円／回（協会員無料）
ワークショップ参加 2,000円／回（協会員1,000円／回） ワークショップ見学 500円／回（協会員無料）

★ 基調講演＆シンポジウム 7月28日（日）17:00〜19:30

「イギリスと日本の事例を通し、社会包摂における芸術の可能性を考える」

【パネリスト】ベアトリス・アレグランティ／ゲストあり 参加費：500円（協会員無料）

【お申込み・お問い合わせ】 一般社団法人 日本演出者協会「イギリス特集 2019」

お申込みはメールにて。Eメール：jda.iad.info1@gmail.com
件名に「イギリス特集2019」を記載。本文に、以下①〜⑤をご記載ください。
①お名前 ②連絡先（電話番号、メールアドレス） ③年齢 ④略歴 ⑤志望動機（200字程度）
お問い合わせ先 電話番号：090-1996-8673（佐川）

ワークショップ申込締切
7月16日（火）

国際演劇交流セミナーとは？

1990年代より、近隣の韓国、中国の演劇人との交流、さらには東アジアの国々と演劇交流をかさね、1999 年からは文化庁による本格助成の下、通年で開催するようになり、世界各国の演劇人を講師として、ワークショップ、レクチャー、シンポジウム、リーディング等を開催しています。これまでに、アジア、ヨーロッパ各国より多くの演劇人を招聘してきました。今後も「世界の演劇人との交流」、ひいては「国際的視野を持つ日本の演出家、及び劇作家、俳優の育成」を目的に、様々なセミナーを実施致します。

2019年度セミナー
❶ フランス特集 5月
ナディーン・ジョージ／ロラン・クルタン
❷ イギリス特集 7月
ベアトリス・アレグランティ